

松尾スズキの 芸術ぽぽい

大人計画メンバーが選んだ お気に入りの一枚



◆宮藤官九郎

「あきらかに」

最初に見た時に気持ち悪くて、こんな絵ばっかりかと思ったら、意外とこれが一番気持ち悪かったのを選びました。(個展を見て)松尾さんの作るお芝居の原型というか、今日見た絵のような演技は実際にはできないから松尾さんは絵で表現するんだらうなど。松尾さんの頭の中で思い描いているお芝居の理想型がこれだとしたら俺らは無理だなと思いました。(笑)



◆阿部サダヲ

「矢印小僧」

本格的な個展でびっくりしました！ホワイエにある『ツダマンの世界』の時の屏風の絵がけっこう好きで、松尾さんの絵っておもしろいな、と思っていたんです。お気に入りの一枚は「矢印小僧」。赤い矢印のイヤリングと「矢印良品」(笑)センスが流石です。松尾さん、ぜひ原画売って下さい!!



◆皆川猿時

「エイジ」

まさか菅原永二だと思わなくてびっくりしました。(笑)外国の俳優みたいで、単純に絵がかつよくて、松尾さんの詩も面白かったです。松尾さんのことを知っているからか、余計に松尾さんの頭の中がわからなくなってきました。底知れない人だな、自分の中で松尾スズキっていう人は「わからない」で認識されました。



◆荒川良々

「赤ちゃん雲」

ちっちゃくてイイなと思って選びました。松尾さんの個展は好きな絵がたくさんあって、すごい才能の塊でした。



◆三宅弘城

「花殴り」

美術が1か2だった自分としてはもう全てが素晴らしいし、第一筆は何から描き始めるのだろう、何を考えたらこういう発想ができるのかと思いました。その中でも私が気になった作品は「花殴り」です。なんとなく、二人の中に愛が見えます。格闘技の心得がない松尾さんが細かな技を知っていたんでしょうか。そして、実際にこれを殺陣でやってみたくて思いました！



◆宮崎吐夢

「あめのりょう」

個展を通して、どの絵も素晴らしかったのですが、わたしが選んだのはロンドンブーツの亮さんが雨に打たれて土砂降りになっている「あめのりょう」という作品です。自分もいつ何があるかわかりません。土砂降りの雨に降られたりするようなことがあっても、いつか晴れる日をゆめみて生きていかなければならない気持ちになりました。



◆池津祥子

「断言する、しんでる」「しんでそう」「生きていた」「しんでる？」

選びきれなかったのでも、物語性のあるルーシーを選びました。言葉と一緒に見ていただけと殺伐とした感じの中にも優しさが込められているので好きなシリーズです。松尾さんとは長い付き合いなので、色んなタッチの絵を知っているつもりでしたが、こんなにも知らない松尾さんがたくさんいるのかとすごく楽しかったです。



◆伊勢志摩

「破裂虎」

「ナポレオン」という映画を観劇した事があり、合戦で馬に大砲が当たるシーンに衝撃を受けたのですが、破裂虎も同じ様な衝撃を受け松尾さんの感性に共感しました。全体が印象深い作品です。懐かしい気持ちが大きいのと松尾さん自体の本質は変わっていないのに魅せる形がこんなにも変わるんだと出会ってから35年の歴史の重みを感じました。



◆顔田顔彦

「ルーシーと骸骨」

Tシャツのデザインにするならどの絵がいいかなという観点で、「ルーシーと骸骨」を選ばせていただきました。このTシャツほしい。骸骨の立体感と動きのカッコ良さが非常に気に入りました。



◆猫背椿

「ペーグルマン」

初めて見る手法もあって、すごく圧巻でした。エモい感じが出ているのが特に好きです。実在じゃないお婆さんは描かないんだと発見もありました!!お気に入りのいっぱいあって悩みましたが「ペーグルマン」。コントラストの激しい色合いが好きなのとペーグルマンの影が怖かわいいところがいいなと思いました。



◆田村たがめ

「トランス」

寅年なので反応してしまいました。額も好きで、純粋に家に飾りたいなと思いました。サインが赤い字だったのは何故なのだろう...すごいたくさん作品があって、びっくりしました。描いてもらった人いいな、いつか描いてください。あと垂幕がオシャレなので、家に欲しいです(笑)



◆近藤公園

「泣赤子」

松尾さんは以前からこどもがそんなに得意ではないと公言されていると思うのですが、この絵は松尾さんと赤ちゃんの距離感が感じられて、思わず頬が緩んでしまうというか、見た時「ふふっ」と笑ってしまったので選ばせていただきました。



◆平岩紙

「あきらかに」

もし松尾さんに会わずにこの個展に来ていたら「わたしの好きな芸術家を見つけた!」と思うだろうなと感じました。好きな作品がたくさん出てきたのですが、最終的に私が好きな作品は「あきらかに」です。タイトルと一緒に書かれている詩もすてきですし、作品を見ながら、唇が真っ青というのが自分が小学校の時にプール入っていたときを思い出しました(笑)



◆正名僕蔵

「止まらない説教」

今回の展覧会ですがとても1時間じゃ消化しきれない内容で、週一ぐらいで来ないと全貌が掴めないのではないと思うくらい楽しかったです。わたしの好きな絵は「止まらない説教」という作品で、恐ろしいタイトルですが、私はこの絵に描かれているキャラクターのフィギュアが是非欲しいです!



◆井口昇

「逃げるは恥だが生き延びる」

松尾さんの繊細な部分と脳みそぐちゃぐちゃなのとかわいらしさが混じっているのが新鮮に感じました。タイトル、コメント含めて全部松尾さんの作品、独特なイメージが溢れ出ている刺激を受けました、気取った美大生にみてもらいたいです(笑)展覧会ができたのをすごいと思う以上に当然のことだと思いました。松尾さんの持つアーティスティックな部分が世に出た事が素晴らしいです。



◆少路勇介

「呑気虎の一瞬」

トラなのに良く見たらマヌケてるのがいいなと思ったことと、見た目のインパクトで選びました。改めて色んな才能をもってらっしゃる方だなと、松尾さんの頭の中はどうなっているのかなと思いました。



◆小林きな子

「呑気虎の一瞬」

顔の可愛さもあるのですが、いつも「ガオーッ」てしていることが多いのに、呑気な気分の時もあるんだな。そうだよな。松尾さんすごい!と、感動しました。あんなにお忙しいのにこんなにも多くの作品を描けるなんてびっくりだし、テイストが全然違う作品も多すぎいいなと思いました。



◆篠原悠伸

「内容」

全体を見て「ずっとあの耳どっかで見たことあるな。誰の耳だっけな」と考えてしまう程、気になって一番印象に残っていたので選びました。個展を見て、松尾さんは世界で一番自画像を描くのが上手だなと思いました。